



新型コロナウイルス感染症

理事長 森 勉

昨年末中国武漢市で発生した新型コロナウイルスは、瞬く間に世界各国に拡散しました。隣国のわが国は、政治・経済・文化的に深い交流があり、感染の拡大を阻止することは厳しい環境に置かれています。人権を尊重しつつ医療崩壊の防止等公共の福祉を重視して水際での阻止、感染の拡大防止、重病者の治療等の総合した対策を政府・自治体、企業等が一丸となつて実施しています。初期段階における武漢市から邦人等のチャーター機による輸送・保護、横浜大黒埠頭での大型クルーズ船への入管・検疫・治療業務等の人道的な対処、東京五輪・パラリンピック2020の延期等記憶に残るものがあります。

わが国政府は、感染が爆発的に拡大している中国・韓国・欧州・イラン・米国等からの入国制限・渡航の自粛、国民への関連情報の開示・啓蒙、医療体制の整備、大規模なスポーツ・文化活動等の抑制、学校の休校等懸命な努力をしています。感染と被害は徐々に拡大し経済や日常生活等社会全般に深刻な影響を与えています。WHOは3月に入り世界で感染者が10万人を超え100カ国以上に拡大しパンデミック（世

界的大流行）を宣言しました。被害が最小限に収まり一刻も早く終息・収束し穏やかな暮らしが回復することを祈るのです。

霊長類の長たる人類には、自然災害の他には天敵はいないように思われますが、実は人類の天敵は皮肉にも人類と病原菌です。人類の歴史は古来より戦争、テロ、偏見と差別等、人類同士が殺し合い傷付け合う、他の動物にはない罪深く痛ましく愚かな行為の連続です。一方病原菌は、14世紀欧州で流行したペストで人口の3分の1にあたる2500万人以上が死亡し、16世紀コロンブス交換でもたらされた天然痘で南北アメリカ大陸の先住民の人口は約10分の1に減少しました。その他にコレラ・チフス・結核・インフルエンザ・エボラ出血熱・エイズ・SARS等人類の歴史は病原菌との戦いの連続です。

パンデミック事態の中、マスクはまだしもトイレトペーパーが品薄になり、新宿御苑の八重桜は美しいとか東北福島の日酒は旨いが関東の八王子や横須賀の酒も捨てたものではないとか他愛のない議論が行われることはまさに人間の天敵が人間である証かもしれません。それが人間の性であったとしても、今は最悪の天敵人間との戦いの矛を一時収め、見えない最強の天敵新型コロナウイルスに立ち向かって欲しいものです。もしそうでないならば・・・。